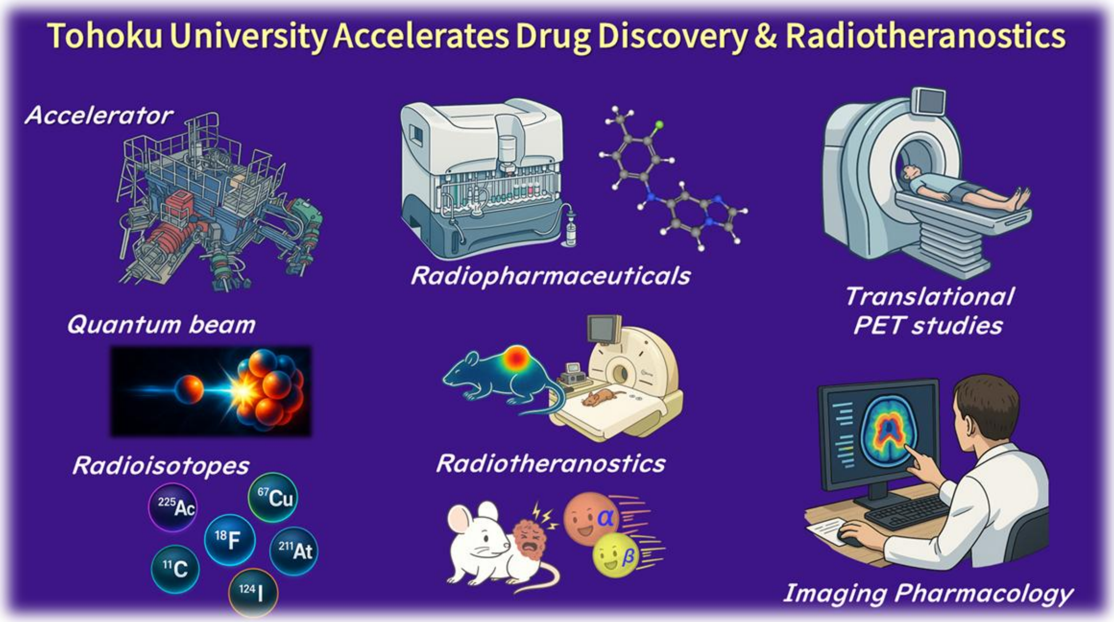
東北大学 Research Showcase

Web開催　Vol.8



東北大学オープンイノベーション事業戦略機構では、企業と大学の共創のきっかけを提供する場として"東北大学Research Showcase"を企画し、本学の研究リソースを紹介しています。今回は、短寿命放射性核種に焦点を当て、その製造や創薬への応用に関する先端技術を紹介します。これらの先端技術を活用することで、認知症やがんをはじめとする多様な疾患に対し、診断と治療を一体化した新たな治療戦略の展開が期待されます。東北大学が提供する核医学創薬プラットフォームを活用した幅広い産学連携の可能性についても議論します。

日時	**2025年 8月 20日（水）18:00-19:10**
演題	**短寿命放射性核種を基盤とする核医学創薬プラットフォーム**
発表者	**古本祥三**　東北大学先端量子ビーム科学研究センター 核薬学研究部　教授 **田代学**　東北大学先端量子ビーム科学研究センター 核医学研究部　教授 **渡部浩司**　東北大学先端量子ビーム科学研究センター 放射線管理研究部　教授
会場	**オンライン開催（zoom webinars）**
事前登録制	https://zoom.us/webinar/register/WN_ACx5mDYiQ6S_4vxr-O0bGQ から申込をお願いいたします。 ※参加費は無料です。 またはQRコードをご確認下さい▶
受付	お申込み多数の場合、アクセス数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催：東北大学オープンイノベーション事業戦略機構

https://oi.tohoku.ac.jp/

短寿命放射性核種を基盤とする 核医学創薬プラットフォーム

【紹介内容】

今回は、加速器を用いた量子ビームによる医療用ポジトロン核種やα・β核種の製造、これを基盤とするPET診断薬・放射性治療薬の創製、RIトレーサーによる分子レベルでの薬効評価、さらには非侵襲的臨床PETによる神経病理イメージングおよび*in vivo*薬効評価研究について最新成果を交えて紹介します。これらの先端技術を活用することで、認知症やがんをはじめとする多様な疾患に対し、診断と治療を一体化した新たな治療戦略の展開が期待されます。また、本プラットフォームを活用した幅広い産学連携の可能性についても議論します。

コンテンツ

18:00	はじめに：武田全弘　東北大学オープンイノベーション事業戦略機構　特任教授
18:05	Topics： 古本祥三 東北大学先端量子ビーム科学研究センター 核薬学研究部　教授 短寿命RIの利活用による放射性創薬研究 田代学 東北大学先端量子ビーム科学研究センター 核医学研究部　教授 短寿命RIを用いたPET臨床研究の実例紹介 渡部浩司 東北大学先端量子ビーム科学研究センター 放射線管理研究部　教授 加速器を用いた量子セラノステックスの開発
18:50	Discussion

お問い合わせ

- 東北大学オープンイノベーション事業戦略機構
- 担当：　武田、大島
- Email：　oi-event@grp.tohoku.ac.jp

主催：東北大学オープンイノベーション事業戦略機構

https://oi.tohoku.ac.jp/